### 迅速スクリーニング検査の流れ

試料のサンプリング



試料の破砕、粉砕(5分※1)



FaPEx®カラムによる抽出・精製(3分※1)



LC-MS-MS分析(5分<sup>※1</sup>)

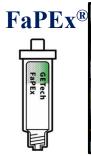


分析データを農業部農業薬物毒物試験所が 管理するクラウド<sup>※2</sup>へ送信



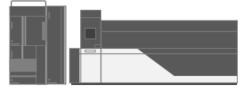
データ解析及び台湾の残留農薬基準値への 適否判定(>1分<sup>※1</sup>)















- ※ 1 分析法(TFDAP0013.00)の規定時間及び台湾農業部の試算。
- ※2 台湾農業部へ特許利用料を支払い、利用ライセンスを取得する必要。

(引用)台湾農業部資料及び 島津製作所ウェブページ

# 分析法の比較

	迅速スクリーニング分析法	公定法
分析法番号	質譜快速篩検技術 (TFDAP0013.00)	多重残留分析法(五) (MOHWP0055.05) 等
用途	生産地や青果市場での 簡易検査	残留農薬基準値に対する 適否の判定
検査対象農薬	191剤	410剤
1 検体あたりの 検査時間※	10~15分	3~7日
1 検体あたりの 検査コスト※	500~1,200台湾元	2,700~6,000台湾元
必要機器	LC/MS/MS	LC/MS/MS及びGC/MS/MS
技術訓練	1,2週間	3~6ヶ月

※ 農業部の試算

## (参考) 迅速スクリーニング検査の導入状況

- → 台湾では、青果市場や産地などで広く導入されている。
- ▶ 当該検査は台湾農業部が研究・開発したものであり、基準値への適否を判定するための公定法に比べて、迅速かつ低コスト。

### 【導入している青果市場】



#### 【台湾の青果市場における導入例】

15:00~22:00 市場への搬入、荷ほどき

22:00~23:00 サンプリング

22:30~03:00 試料調整、分析

03:00~03:30 結果判定

03:30~ 売買取引

- ※基準値超過が確認されたロットは廃棄。
- 一回目の超過で10日間の搬入停止。
- 三回目の超過で搬入資格を停止。